

A decorative border consisting of four curved segments, each adorned with small flowers and leaves, framing the central text.

第 30 回創価芸術展

一般公募者の出品について

創価芸術展の淵源

1990年（平成2年）6月3日、関西創価小学校の第6回児童ドリームフェスティバルに出席された創立者は、児童の絵画を鑑賞され、「創価一貫教育の芸術展を開催してはどうか」とご提案されました。

これを受けて、同年11月に創価大学創立20周年記念の意義の含めた第1回創価芸術展が、創価女子短期大学の白鳥体育館で盛大に開催されました。

そこで創価大学、創価女子短期大学、東京・関西創価学園（小・中・高）、札幌創価幼稚園における、学生・生徒・児童・園児の作品が日頃のクラブ活動の成果として、賑やかに展示されました。部門は絵画・工芸・書道・写真・華道の多岐にわたっています。

第1回展の際、創立者より「すばらしいね。巡回展をやろう。時代は絵画とか文化を目指している。上手だ。素質がある。世界に持っていこう。いいことをやりました。来年もやろう。」とのご提案を頂き、創価一貫教育による初の芸術展がここにはじまりました。

海外展

創立者のご提案を受け、1998年12月、創価芸術展として初の海外交流展が韓国・済州大学にて開催されました。

地元の5千万人を超える市民の方々がこの交流展に訪れ、地元の新聞・ラジオ・テレビなどにも大きく報道されました。展覧会を鑑賞した学生たちの間には「日本への見方が変わりました。偏見が崩れ去りました。同じ人間だと心の底から感じました。」などの声が上がると、交流展として大成功のうちに第1回海外展は終わりました。

その後2001年に第2回海外展が香港の創価幼稚園で開催されました。

第 30 回創価芸術展学生実行委員会テーマ

源流

～創価芸術の新時代を拓きゆけ～

意義文

今回のテーマは、今までの創価芸術展で受け継がれてきた伝統を原点に、第 30 回展という節目の年である本年、この流れをさらに発展させていこうとの思いで作成した。

源流

第 1 回展から繋いできた思いがあって第 30 回展という大きな節目にたどり着くことができた。しかし、100 年 200 年と続いていく未来を見据えたとき、30 という数字はまだ草創期なのである。私たち四団体は、感謝の気持ちを忘れずにこの『源流』の中にありながら、永遠に続いていく大河へと前進していきたい。

創価芸術の新時代を拓きゆけ

四団体、各部、そして一人一人の「挑戦」という意義がこの一文には込められている。また、それぞれが「創価芸術とは何か」「創価芸術を通して何を伝えたいのか」について考え深めていきたい。創芸展のさらなる発展のため、『新時代』の先駆者として、開拓の一步を踏み出していこう。



《創価芸術展の出品について》

I. 出品について

- 1) 資格：創価大学学部生・大学院生・創価女子短期大学生・通信教育部学生・教職員
- 2) 部門：美術 書道 華道 写真
- 3) 出品料：無料（※写真部門については部門規約をご参照ください）
- 4) 応募作品：各部門規約をご参照ください。

II. エントリー期間

2019年6月12日(水)～7月12日(金)

※この期間にエントリーをした方が、作品を出品することができます。

III. エントリー方法（以下のいずれかの方法でエントリーしてください）

- ① 創価芸術展 HP 内の QR コードから
- ② 以下の QR コードの応募フォームから



※美術部門のエントリーの際には必ずどのジャンル（絵画・デザイン・立体）で出品予定か明記していただくようお願い致します。

IV. 作品受付

美術部門：2019年9月9日(月) BA401にて

書道部門：2019年9月上旬（詳細は後日書道部門担当より通知いたします。）

華道部門：2019年10月2日(水)

写真部門：2019年9月10日(火) 学生センター2階ラウンジにて

- ① 作品
 - ② 応募用紙
- の提出をもって受理します。

※作品受付日に作品を提出することができない方は、事前に各部門担当者までご相談ください

V. 選考方法について

1) 一次審査（鑑査）

- ① 創価大学・創価女子短期大学の学内組織・団体の代表による投票を行う
- ② ①の投票結果に基づき、審査委員会による最終選考を行う

2) 本審査（受賞作品決定）

- ① 各審査委員による推薦により、賞候補作品を決定する
- ② 審査委員会の審議を経て、受賞者を最終決定する

VI. 選考結果の発表

1) 鑑査結果発表：9月中旬予定

メールでのご連絡となりますのでご確認ください。また、残念ながら鑑査を通らなかった作品については随時ご連絡し、ご返却いたします。

2) 審査結果発表：10月上旬予定

受賞者にのみ個別で連絡させていただきます。

VII. オープニングセレモニー・表彰式

対象：受賞者、芸術4団体に属する部員

日時：2019年10月3日(木) ※時間は決まり次第お伝え致します。

場所：創価大学池田記念講堂 正面ロビー

IX. 展覧会

会期：2019年10月5日(土)～10月13日(日)

場所：創価大学池田記念講堂

各部門展示場所 1F…海外・学園、2F…書道、3F…写真・華道、4F…美術

※華道作品については、規約をご参照ください。

X. 作品返却

展覧会終了後、学生実行委員会から日時や引き渡し場所などを随時ご連絡いたします。

1年以内に取りに来られなかった作品はこちらで処分させていただきますので、ご注意ください。

また、巡回展に選出された方は、作品返却が年明けになりますのでご了承ください。

【よくあるご質問】

Q. 鑑査とは？

→入選・選外の作品を選抜することです。(その作品が創芸展に展示できるか否かを決める場です)

- ① 創価大学・創価女子短期大学の各団体代表による投票を行います。
- ② それに基づき、創価一貫教育に関わる芸術関係の教職員で構成される審査委員会が最終選考を行います。

Q. 審査（本審査）とは？

→受賞作品を決定することです。

- ① 審査委員会の審査委員により、賞候補作品を決定し、
- ② 審査委員会での討議を経て、受賞者を最終決定します。

Q. 出品する部門は一つしかだめなのか？

→出品する部門はいくつでもかまいません。

Q. 出品する部門はいつまでに決めればいいのか？

→エントリーの際に選択をお願い致します（エントリー〆切日：7月12日(金)）。エントリー後は、部門ごとの担当と個別に連絡を取り合うこととなります。各部門の受付日程、規定に従って作品を出品してください。

Q. 留学・旅行で作品受付にいけない場合はどうすればよいのか？

→個別で対応させていただきます。ご連絡ください。

その他、ご質問やなにかお困りの点がございましたら、いつでも実行委員会にご連絡ください。

お問い合わせ用アドレス：sougeiten30@gmail.com

創価芸術展 HP: <https://sougeiten30.wixsite.com/sougeiten30>

